

清柳園焼却施設解体工事住民説明会の開催結果について

清柳園焼却施設解体工事の住民説明会を開催いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

1 開催状況

令和6年11月3日（祝・日）午後6時30分から午後8時まで

清瀬市下宿八幡神社集会場

令和6年11月9日（土）午前10時から午前11時10分まで

清瀬市下宿地域市民センター第二会議室

2 説明会でいただいた主なご意見ご質問とそれに対する当組合の回答をまとめて掲載いたします。

質問 作業範囲として、清瀬市環境課ごみ減量推進係の建物がある所は、土壤汚染等の問題はないのか。

回答 建物のある所は、アスファルト舗装されているため、土壤汚染の問題はありません。

質問 危険と思われる建物を、30年もそのままにしていたのか。

回答 土壤対策、解体工事費用の金額が大きいため、関係市の財政負担も鑑みて実施出来ませんでした。

令和元年の台風19号の影響により、被害のあった設備を撤去するにあたり、他の設備や建物を調査したところ、老朽化が進んでいる事が判明し、令和2年度に基金を設置し財源の確保ができたため、解体工事を着手することができました。

質問 解体後の跡地利用について、ごみ等の仮置き場に利用するのか。

回答 現段階では、決まっていません。これまでの歴史的経過や地元市内にあることなどを踏まえ清瀬市により有効的に活用する申し出があり、今後関係市と協議を進めていきます。

質問 敷地内の土壤に含まれているダイオキシンは人体に影響はないのか。

回答 土壤汚染の原因となっている焼却灰の埋立ては、昭和43年以降に行ったものであり、当時は法律的に規制されていませんでした。安全性の問題については、ダイオキシンの含まれている土壤を直接手で触れ、体内に摂取した場合や土壤が飛散しそれが口に入って摂取する場合がありますが、清柳園は市民の方が敷地内に入出入りすることはなく、土壤を直接摂取する機会がないことから人体への影響はありません。

- 質問 有害物質の調査の説明があつたが、調査結果は住民側へ公表されるのか。
- 回答 各種調査結果は、現場の掲示板に工事かわら版として、作業内容等と共に
掲示する予定です。
- 質問 土壌汚染の撤去範囲は。深さや量はどれ位か。
- 回答 撤去する土壌の深さは、80cm、2.6mと場所により様々ですが、範囲
も含め計画に則って確実に撤去します。
土壌の処理量としては、約4,000m³です。
- 質問 水質調査とあるが、なんの調査か。また、深さはどれくらいか。
- 回答 地下水の調査です。
土壌調査時に4カ所を国から示されている項目に則って調査しています。
深さは、地下水が出る所5mから6m程度です。
- 質問 水は低い所へ常に流れている物だろう。敷地内の調査以外は対象となつて
いないのか。
- 回答 令和3年から5年までに地下水の流れも調査しています。資料に示す柳瀬
川方向が敷地内の下流側となっています。柳瀬川の水質調査は、東京都が行
っています。現在、環境基準を満たしています。また、地下水の流れる方向
には飲料及び農業用井戸もない為、生命健康に問題は無いと考えます。
- 質問 清柳園の跡地利用に関する情報は自治会、住民へ知らせてほしい。
- 回答 解体整地後の跡地は、清瀬市・東久留米市・西東京市の三市により協議し
ます。現時点では清瀬市が管理し有効利用する予定です。内容が決まり次第、
周知します。
- 質問 外構工事とあるが、解体後はどのような形になるのか。周囲のフェンスはど
うなるか。
- 回答 砕石敷き、転圧仕上げ、草が生えにくいように仕上げます。周囲のフェン
スは、現状復旧します。
- 質問 産業廃棄物の処分先は決まっているか。
- 回答 現段階で土壌は、横浜にあるGEテクノスで処分予定。ダイオキシンは、
三重県にある三重中央開発で処分予定です。その他については検討中です。
- 質問 作業は土日休みか。
- 回答 基本的に土日及び祝日は休工となります。ただし、緊急時には、事前周知
の上で土日及び祝日の作業も実施する可能性があります。
- 質問 環境調査は作業前・中・後に分けて実施されることは理解したが、土壌入
替後に環境調査を実施する予定がないのはなぜか。（「説明会資料12ペー
ジ・工事概略⑥有害物質調査・環境調査項目」参照）

回答 土壌入替後の環境調査も実施されますが、測定範囲ごとに詳細な調査を行っているため、説明会資料では簡略化して記載しています。詳細な調査結果は、工事現場に掲示される工事かわら版と組合ホームページに掲載します。

質問 本日の説明会は近隣の方から聞いて知った。解体工事が行われることについて、それまで知らなかった。ごみの問題は日常生活に重要で、柳泉園組合の清掃事業には日頃から感謝している。個人的にはダイオキシンのことに非常に関心があるが、周辺には新規住宅が増えており、解体工事を知らない人も多いのではないか。現場の工事かわら版等での掲示は効果が限定的だと思う。工事開始と終了時だけでも、別の方法で報告してもらえないか。

回答 清柳園周辺住民の皆様にはチラシを配布し、在宅の場合は対面で解体工事の説明もさせていただきました。また、組合ホームページや、新聞折り込みしている組合広報紙「りゅうせんえんニュース」でも周知しています。今後の工事の進捗状況や調査結果については、現場の工事かわら版等で掲示する予定であり、組合ホームページにも掲載します。また清瀬市にも協力いただき市民周知に努めていきます。

質問 組合ホームページに掲載されている地下水の調査結果を拝見した。敷地南東側のダイオキシンの測定結果は基準値を超えており、柳瀬川方向に流れていると記載されていた。下宿プール側・住宅側には地下水は流入していないことを確認したい。

回答 地下水については、令和3年から令和5年までの3年間の調査を実施し、地下水の流れを測定しました。下宿プール側・住宅側方向への流入は現段階で確認されておらず、柳瀬川方向に地下水は流れています。